

2 目標達成計画

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	利用者のADL低下や、家族の協力が少なく、職員の配置上事前に予定を組まないと外出支援が出来ない等、利用者が普段はいけなような場所に、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援する事ができていない。	家族の協力を仰ぎ、家族に変わり職員が可能な限り本人が行きたいと思う、普段いけないような場所へ出かけられる支援をする。	家族へは帰省や近くに来られた際などに利用者と共に外出してもらえる様に促す。職員は事前に予定を組み外出支援を行う。	12ヶ月
2	64	利用者も高齢の為、馴染みの人との繋がりが保てていない。地域の人々が訪ねてくる機会が少ない。	馴染みの人との繋がりとして、会って話をするだけではなく手紙などで連絡を取り合えるようになる。地域の社会資源を活用し地域の人々が訪ねてくる様にする。	家族へ聴き取りを行い馴染みの人へ連絡できる手段を聞き、それを元に様々なアプローチをかける。地域の社会資源を探し、施設で活用する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。